

神経制御工学研究室

研究室が発足して今年で15年目となり、研究室の卒業生は通算68名となりました。また、2014年4月に研究室名を神経制御工学研究室に改変して以来、神経工学に関心のある学生が年々増えています。現在、教員2名(舘野高教授と西川淳准教授)、事務補助員1名、学部4年生4人、修士学生7人、博士後期学生2人が研究室に所属しています。小さな研究室ですが、脳刺激法と聴覚中枢神経系をキーワードに、神経科学および神経工学の研究を行っています。研究室に所属する学生達も活発に研究活動を行っており、過去8年間で学生の学会発表(82件)、投稿論文の出版(26件)、学内外での受賞(26件)といった成果も出ています。昨年度は、修士課程の学生が、国際会議 Biodevice 2026 で Best Paper Award を受賞しました。その他として、研究室の所属学生が関西支部等で受賞しています。

今後もこうした研究をさらに発展させ、脳疾患治療への応用が可能な脳刺激装置を創案し、特に、難聴や耳鳴りなどの聴疾患に対して、新しいプロトタイプとなる治療装置を開発したいと考えています。本研究室のホームページもありますので、ご興味のある方は是非内容をご覧ください。

[\(https://tt-lab.ist.hokudai.ac.jp/\)](https://tt-lab.ist.hokudai.ac.jp/)